

「生活」（せいかつ）学習指導案

1. 日時 令和7年10月16日（木） 第3時限（10:35～11:15）
2. 場所 小学部 教室・低学年ホール
3. 学部・学年・組 小学部
4. 題材名 「かぜであそぼう！」
5. 題材目標

1段階

- ・風を使った遊びに関心をもつ。〈知識及び技能〉
- ・風を使ったおもちゃ等を動かしたり、教師や友だちと同じ場所で風遊びをしたりしようとする。
〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・自分から手を伸ばして風遊びをしようとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

2段階

- ・風を使った遊びの方法を知る。〈知識及び技能〉
- ・風を使ったおもちゃ等を動かしたり、工夫して遊んだりしようとする。
〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・友だちと一緒に風遊びをしようとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

6. 児童観

本学年は、特別支援学校学習指導要領における小学部1段階から小学部2段階の児童が在籍している。コミュニケーションに関しては、言葉でやりとりができる児童、発語のある児童、指差しや表情、絵カードで思いを伝える児童がいる。

毎日取り組んでいる朝の運動（ダンス）の『WONDERFUL』や『金のガチョーラ』では、学年全員が横一列になり手を繋いで歩いたり、友だちの肩に手を置き繋がって歩いたりする等、学年単位で取り組める場面が少しずつ増えてきた。自由遊びの時間には、追いかっこやくすぐり遊び等、教師と一緒に遊びを楽しむ姿や、友だちが読んでいる本をのぞいたり同じ歌絵本を一緒に聴いたりする姿が見られるようになってきた。一方で、ホールを走ったりセンサーボールを見たりバランスボールに乗ったりと、一人遊びや感覚遊びを楽しむ時間がまだまだ多い児童もいる。また、決まった遊びを繰り返して楽しむことが多く、いろいろな遊びの経験が少ないと感じる。

生活科の授業では、椅子取りゲームや魚釣りを通して集団遊びやルールのある遊びを学んできた。椅子取りゲームでは、活動を繰り返すことでルールを理解し、音楽が止まったら空いている椅子を探して座ることができる児童や、教師の促しを受けながら椅子を探して座ることができる児童、教師と一緒に歩いたり座ったりを経験しながら楽しむ児童がいた。

7. 教材観

本単元は、特別支援学校学習指導要領小学部生活1段階の目標である「エ 遊び (ア) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとすること。(イ) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつこと。」、2段階の目標である「エ 遊び (ア) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりすること。(イ) 簡単なきまりのある遊びについて知ること。」を取り上げる。

本学年は一人遊びを楽しむ児童が多いため、同じテーマを設定して遊びを展開することで、友だちの遊んでいる姿を見たり、楽しい気持ちを共感したりすることを期待したい。そこで、児童の身近に存在する自然である『風』をテーマに設定し、風を感じられる遊びを展開していく。風は、体全体で感じたり、おもちゃを通して操作しながら遊んだりすることができるため、五感で楽しんだり工夫して遊んだりしやすく、学年のどの児童にも受け入れやすいと考える。

絵本『かぜ びゅんびゅん』は、簡単な内容で、いろいろな風を擬音で表現しているため児童にも伝わりやすい。また、絵本に出てくる風を再現することで、実際に風を体感し、その後の遊びに繋がるようにする。

活動では、まず風に気付くことができるように、紙吹雪やスズランテープ、スカーフ等で風の動きを視覚化する。紙吹雪はより風に揺れたり舞ったりする様子を楽しめるように、紙をいろいろな形に折り、舞い方に違いが出るようにする。また、実際に操作をしたり体感したりしながら遊べるように、自分の息を吹きかけることで動く風車や、走ると動く凧を用いる。凧揚げは、舞いやすいようにビニール袋を使用する。さらに、柔らかい風や強い風を体感したり工夫して遊んだりすることができるようにするため、うちわや扇風機、送風機等いろいろな道具を用意する。

8. 指導観

本単元では、風を使った様々な遊びを通して教師や友だちと関わりながら遊んだり、遊びそのものの経験を広げたりできるようにしたい。

具体的には、風を感じながら遊ぶことができるように、実際に見る・触れる・遊ぶ活動を設定した。見る活動では、『かぜ びゅんびゅん』の絵本を見聞きして風というものを知ったり、目に見えない風の流れを紙吹雪やスズランテープ、スカーフに当てることで視覚化して風を感じたりすることができるようにする。触れる活動では、実際にうちわや扇風機、送風機の風を体全体で触れることで、やわらかい風や強風を体感できるようにする。遊ぶ活動では、風を使って動かすことができる風車や紙吹雪、凧揚げ等を取り入れ、自分で動かそうとしたり工夫して遊ぼうとしたりする姿を引き出したい。自分から遊びに取り組むことが難しい児童は、教師が遊び方を見せたり誘ったりして、様々な遊びを経験できるようにする。また、児童の気付きや工夫しているところを積極的に全体に共有し、友だちの遊び方を取り入れたり、さらに工夫しようとする意欲を高めたりすることができるようにしたい。

児童が授業の流れを知り、活動に見通しをもつことができるように、授業の初めにスケジュールを提示する。スケジュールは、活動内容を言葉とイラストで書いたカードを並べ、1つの活動が終われば花丸カードを貼ることで、授業の進行具合がわかるようにする。振り返りでは、活動の予定カードと感想カードを用意し、児童がカードを選んで伝えられるようにする。言葉で発表することが難しい児童の場合は、選んだカードを教師が代わりに言葉にして発表したり、身振りでの伝え方の手本を示し一緒に身

振りで伝えるように支援したりする。1人で発表できる児童は、自分の言葉で発表するよう促す。また、活動中に児童の表情や行動をよく見て、反応したことを一緒に共感したり、輝いていた姿を全体で褒めたりして、満足感や達成感を味わい自信に繋がるようにしたい。

9. 単元（題材）の評価規準

1段階

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 絵本を見聞きしている。 ② 風車が回る様子を見ている。 ③ 紙吹雪や凧が舞う様子を見ている。	① 教師や友だちの働きかけを受けて、一緒に風遊びをしている。 ② 教師と一緒に息やうちわ等を使って、風車を動かしたり紙吹雪や凧を飛ばしたりしている。	① 自分からおもちゃ等を手に取って遊ぼうとしている。 ② 繰り返し遊ぶ等、表情や行動で楽しさ等を表している。

2段階

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 絵本を見聞きしたり、紙吹雪を見たりしている。 ② 風車に風を当てると回ることに気付いている。 ③ 凧を持って走ると、ビニール袋が膨らんだり凧が飛んだりすることに気付いている。	① 風車が回るように風の当て方を試しながら、風車を回している。 ② 走ったり風を当てたりして、凧を飛ばしている。 ③ うちわや息等で強弱をつけて風を起こす等工夫して遊んでいる。	① 友だちの様子を見たり、教師や友だちと遊ぼうとしたりしている。 ② 自分の好きな遊びを見せたり、伝えたりしている。

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全4時間、本時は第4時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1	・絵本から風について知り、実際に風を体で感じる。 ・扇風機や息等の風を受けて動く風車に関心	・絵本『かぜ びゅん びゅん』を見聞きする。 ・扇風機や息等を使って、風車を見たり体験	・絵本に出てくる風に合わせてうちわ等で風を起こし体感できるようにする。 ・注目して見るように促す。 ・簡単に動きやすいように風車の羽を工夫す	・1 A① 2 A① ・1 A② 2 A②

	<p>をもつ。</p> <p>・ 凧に扇風機の風を当てたり、凧を持って走ったりしてすると凧が揚がることに興味をもつ。</p>	<p>したりする。</p> <p>・ 凧が飛んでいるところを見たり、凧を持って走ったりする。</p>	<p>る。</p> <p>・ 息を吹きかけることが難しい児童も参加できるように、扇風機等の風を起こす道具を用意する。</p> <p>・ 凧の飛んでいる様子に注目するよう促したり、凧の飛ばし方の手本を示したりする。</p>	<p>・ 1 A③</p> <p>2 A③</p>
2	<p>・ 絵本から風について知り、実際に風を体で感じる。</p> <p>・ 扇風機や息等の風を自分で起こすと風車が動くことを知る。</p> <p>・ うちわ等の道具や息を使って紙吹雪を飛ばして遊ぶことを通して、風によって紙吹雪が舞うことに気付く。</p>	<p>・ 絵本『かぜ びゅん びゅん』を見聞きする。</p> <p>・ 扇風機や息等を使って、風車で遊ぶ。</p> <p>・ うちわや扇風機、送風機、体全体で紙吹雪を飛ばしたり、風の動きを見たりする。</p>	<p>・ 絵本に出てくる風に合わせてうちわ等で風を起こし体感できるようにする。</p> <p>・ 注目して見るように促す。</p> <p>・ 簡単に動きやすいように風車の羽を工夫する。</p> <p>・ 息を吹きかけることが難しい児童も参加できるように、扇風機等の風を起こす道具を用意する。</p> <p>・ まずは遊び方を見せる。また、紙吹雪を見るように促す。</p>	<p>・ 1 A①</p> <p>2 A①</p> <p>・ 1 B①</p> <p>2 B①</p> <p>・ 1 A③B①</p> <p>2 A①C①</p>

2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本から風について見聞きしたり、実際に体に触れる風を感じたりして、風の存在に気付く。 ・前時までの復習をし、風でもものが動くことを確認する。 ・凧に扇風機の風を当てたり、凧を持って走ったりすると凧が揚がることを体感する。 ・うちわ等の道具や息を使って紙吹雪を飛ばして遊ぶことを通して、風によって紙吹雪が舞う様子が変わることを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本『かぜ びゅん びゅん』を見聞きする。 ・前時までに取り組んできた風車を動かす。 ・凧が飛んでいるところを見たり、凧を持って走ったりする。 ・うちわや扇風機、送風機、体全体で紙吹雪を飛ばしたり、風の動きを見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本に出てくる風に合わせてうちわ等で風を起こし体感できるようにする。 ・注目して見るように促す。 ・凧の飛んでいる様子に注目するよう促したり、凧の飛ばし方の手本を示したりする。 ・まずは遊び方を見せる。また、一緒に遊びながら遊びの楽しさを共感したり、風の動きに注目するよう言葉かけをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 B②C① ・ 2 B②C① ・ 1 B②C① ・ 2 B③C②
	4 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本から風について見聞きしたり実際に体に触れる風を感じたりして、風の存在に気付く。 ・前時までの復習をし、風でもものが動くことを確認する。 ・凧に扇風機の風を当てたり、凧を持って走ったりすると凧が揚がることを体感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本『かぜ びゅん びゅん』を見聞きする。 ・前時までに取り組んできた風車を動かす。 ・凧が飛んでいるところを見たり、凧を持って走ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本に出てくる風に合わせてうちわ等で風を起こし体感できるようにする。 ・注目して見るように促す。 ・凧の飛んでいる様子に注目するよう促したり、凧の飛ばし方の手本を示したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 A③B② ・ 2 A③

	<ul style="list-style-type: none"> ・うちわ等の道具や息を使って紙吹雪を飛ばすことを通して、風によって舞い方が変わることを体感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うちわや扇風機、送風機、体全体を使って風を起し紙吹雪を飛ばしたり、風の動きを見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊びながら遊びの楽しさを共感したり、風の動きに注目するよう言葉かけをしたりする。また、児童が楽しそうに活動している様子や工夫していること等を見つけ、共感したり褒めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 C② 2 B③C②
--	--	---	--	--

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

1 段階

〈知識及び技能〉

凧や紙吹雪に関心をもつ。

〈思考力、判断力、表現力等〉

友だちと同じ場所で遊んだり、風を使って凧や紙吹雪を飛ばしたりしようとする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

自分から遊ぼうとする。

2 段階

〈知識及び技能〉

凧の飛ばし方がわかる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

風を使って凧や紙吹雪を飛ばしたり、飛ばし方を工夫したりしようとする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

友だちと一緒に風遊びをしようとする。

(2) 本時の評価規準

1 段階

〈知識・技能〉

・ 凧や紙吹雪が舞う様子を見ている。 …A③

〈思考力・判断力・表現力等〉

・ 教師と一緒に風を使って凧や紙吹雪を飛ばしたりしている。 …B②

〈主体的に学習に取り組む態度〉

・ 自分からおもちゃ等に手を伸ばし、繰り返して遊ぼうとしている。 …C②

2 段階

〈知識・技能〉

・ 走ったり扇風機の風に当たったりすると凧が飛ぶことに気付いて飛ばしている。 …A③

〈思考力・判断力・表現力等〉

・ 風を使って凧や紙吹雪を飛ばしたり、風の強弱をつける等工夫をしたりしている。 …B③

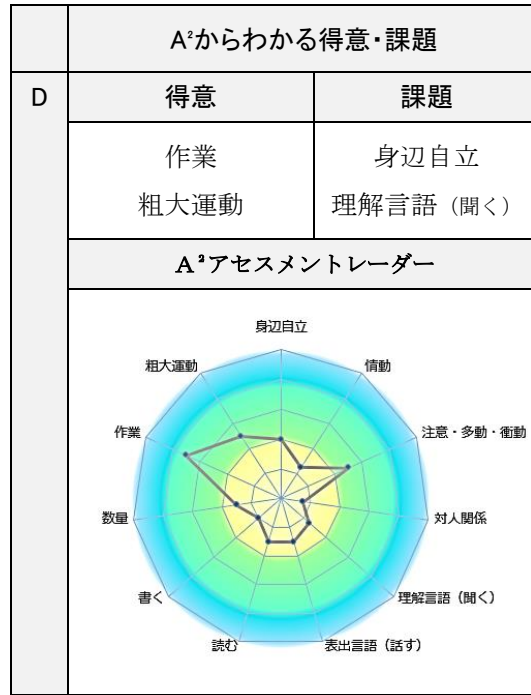
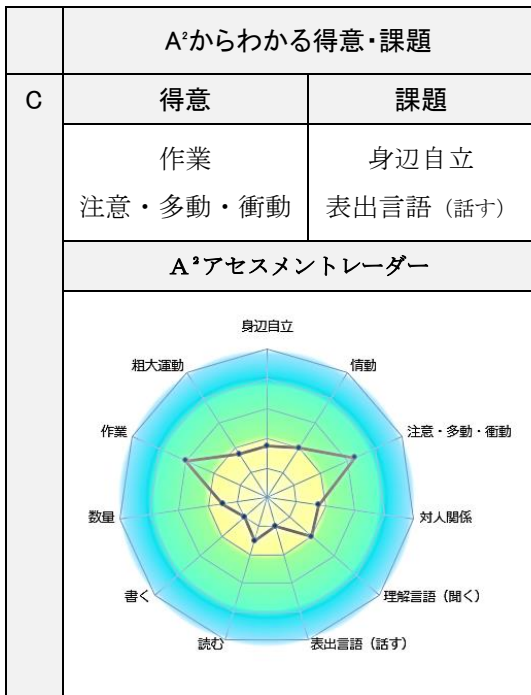
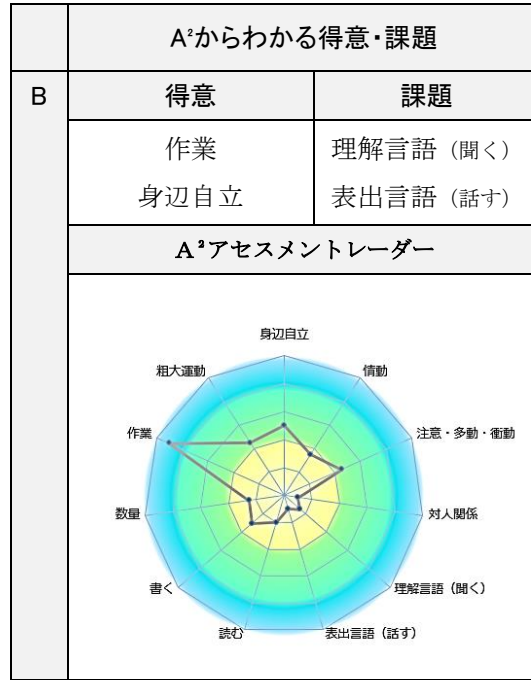
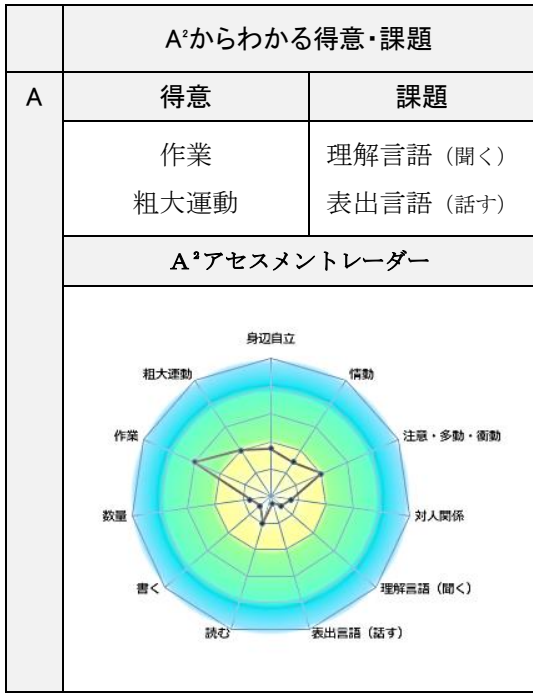
〈主体的に学習に取り組む態度〉

・ 教師や友だちと一緒に関わりながら遊ぼうとしている。 …C②

(3) 本時で扱う教材・教具

大型モニター、HDMI ケーブル、コードリール、接続コネクタ、タブレット端末、スピーカー、本時の予定カード、花丸カード、絵本『かぜ びゅんびゅん』、風車、ビニール袋の凧、紙吹雪、うちわ、扇風機、送風機、感想カード

(4) 児童生徒の実態と本時の目標



(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準(評価方法)
5分 導 入	<p>① はじめのあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番の児童は前に出て挨拶をする。 <p><u>授業の始まりを意識する。</u></p> <p>② 学習内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された学習内容を見る。 <p><u>本時の予定を聞き、見通しをもつ。</u></p> <p>③ 絵本『かぜ びゅんびゅん』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を見聞きする。 <p><u>絵本を通して風を感じる。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を整えて座っているか確認する。 ・前に出て挨拶をする児童を見るように促す。 ・前で挨拶をする児童の実態に応じて、言葉や身振りで挨拶をするように促す。 ・予定カードを示し、見通しをもてるようにする。 ・絵本に出てくる風の種類に合わせて読み方を工夫したり、実際に風をおこしたりする。 	
30分 展 開	<p>④ やってみよう『かざぐるま』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風車に息を吹きかけて動かす。 <p><u>風車に息や扇風機の風を当てることで、風車が動くことを知る。</u></p> <p>⑤ やってみよう『たこあげ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扇風機の風で凧を飛ばしたり、凧を持って走ったりする。 <p><u>走ったり扇風機の風を当てたりすると凧が飛ぶことに気付く。</u></p> <p>⑥ やってみよう『かみふぶき』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちわ、送風機、扇風機、体全体を使って紙吹雪遊びをする。 <p><u>うちわ等の風を使ったり紙吹雪を</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・回る風車を見るように促す。 ・「ふー」等わかりやすい言葉かけをする。 ・動かすことができた褒めたり楽しい気持ちを共感する言葉かけをしたりする。 ・凧の飛んでいる様子に注目するよう促したり、凧の飛ばし方の手本を示したりする。 ・紙吹雪を見たり飛ばしたりするよう促す。 ・遊びに誘ったり、児童が工夫して 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 A③ B② 2 A③ ・ 1 C② 2 B③ C②

	<p><u>飛ばしたりして、風を感じる。</u></p> <p>⑦ かたづけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使った道具や紙吹雪を片付ける。 <p><u>使ったものは決められた場所へ片付ける意識をもつ。</u></p>	<p>遊んでいる姿や楽しそうにしている姿等を見つけて、褒めたり共感したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片付ける場所が明確にわかるようにする。 	
5分 ま と め	<p>⑧ ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定カードと感想カードを選び、発表する。 <p><u>自分の気持ちを、言葉やカード、身振りで伝える。</u></p> <p>⑨ おわりのあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当番の児童は前に出て挨拶をする。 <p><u>授業の終わりを意識する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想カードを用意する。 ・発語のない児童は、感想カードを選んだり、身振りで伝えたりするように促す。言葉で伝えられる児童は、他の児童の方を向いて自分の言葉で振り返るように促す。 ・姿勢を整えて座っているか確認をする。 ・前に出て挨拶をする児童を見るように促す。 ・前で挨拶をする児童の実態に応じて、言葉や身振りで挨拶をするように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2C②